

おぢや

市議会だより



OJIYA CITY ASSEMBLY

NO. 69

25.7.25

編集発行
小千谷市議会
☎83-3505



東山住民センター・元東山保育園

建物1階の東山住民センターと、2階の元東山保育園のスペースを合わせ活用されています。東山地区振興協議会を中心に、子育て支援事業「東山里山子育て支援ひろば・木のこん」、自主サークル「自然派育自森のようちえんはじめ隊」、東山ふれあいいきいきサロン、デイホームひがしやま、東山千年物語櫻を育てる会等、多くの団体が利用し地域活性化の活動を支援しています。

所在地：〒947-0212 小千谷市大字南荷頃2666番地1
電話：0258-59-2003（東山住民センター）

- 第1回臨時会議決結果 …… P2
- 第2回定例会議決結果 …… P3
- 議員永年表彰者 …… P3
- 常任委員会報告 …… P3~4
- 一般質問 …… P4~7
- 議会日誌 …… P8
- 雪あかり、編集後記 …… P8

—主な掲載内容—

平成25年小千谷市議会
第1回臨時議会
議決結果

5月10日に開催され、専決処分の承認、正副議長を選出、各委員会等の新しい構成を決定いたしました。

専決処分

- 専決処分（小千谷市税条例の一部改正）（全会一致）
- 専決処分（小千谷市都市計画条例の一部改正）（全会一致）
- 専決処分（小千谷市国民健康保険条例の一部改正）（全会一致）
- 専決処分（平成24年度小千谷市一般会計補正予算（第10号））（全会一致）

議会構成等の決定

- ▽議長 風間 順一
- ▽副議長 本田 剛
- ▽総務文教委員会
 - 田中 淳
 - 川上 直栄
- 久保田陽一 阿部 正行
- 山本 道男 長谷川有理
- 風間 健一 吉原 正幸

▽民生産業委員会

- 山賀 一雄
- 吉崎 進
- 柳田 宏光 本田 剛
- 久保田久栄 風間 順一
- 横田 卯一

▽議会運営委員会

- 吉原 正幸
- 風間 健一
- 山賀 一雄 田中 淳
- 柳田 宏光 久保田久栄

（○委員長、○副委員長）

- ▽魚沼地域特別養護老人ホーム
組合議会議員 本田 剛
- ▽新潟県後期高齢者医療広域連合
合議会議員 山賀 一雄
- ▽農業委員会委員
柳田 宏光 横田 卯一

その他

- 小千谷市監査委員（久保田久栄）の同意（全員賛成）

就任あいさつ



議長 風間 順一



副議長 本田 剛

臨時市議会において議員諸氏よりご推挙をいただき市議会議長に選任を賜りました。身に余る光栄でありその職責を全うしていく決意であります。行財政改革、議会改革は、不断の課題であります。浅学非才でありますが、地域主権改革の中にあつて、分権と自治の時代にふさわしい市民に身近な議会として、二元代表制の一方である合議制の機関である市議会として、その権能をしっかりと認識し、市民福祉の向上と小千谷市の更なる発展のため、公正誠実を旨とし議会運営に努めてまいります。先般、第89回全国市議会議長会において、5委員会の一つであります建設運輸委員会副委員長に、選任を賜りました。しっかりと取り組んでいく決意であります。議員諸氏、市民の皆様のお念一層のご指導、ご鞭撻を願ひ申し上げまして、就任のご挨拶といたします。

このたび、議員各位のご推挙によりまして、市議会議長に就任いたしましたことは、このうえもなく身に余る光栄と存じ、その責任の重大さを痛感いたしておる次第でございます。同時に幸いにして、卓越された議長の後尾に付し、ご指導とご助言をいただきながら名誉ある席を汚さずに、議会が円滑に運営されますことを念頭におき、自ら研鑽を深めながら、役職を全うできるよう誠心誠意努力し務めさせていただきます。今後とも市民の皆様方の絶大なご指導、ご鞭撻を賜りますことを心よりお願いいたします。就任のご挨拶とさせていただきます。



会議録の閲覧

市議会本会議の会議録（平成15年第1回定例会以降）は市ホームページからご覧いただけます。

（平成25年第2回定例会の会議録掲載は、8月末頃となります。）

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp>



第2回定例会 議決結果

6月6日から25日まで開催され、次のとおり議決いたしました。

条例の改正

- 小千谷市立学校設置条例の一部改正 (全会一致)
- 小千谷市子どもの医療費助成に関する条例の一部改正 (全会一致)

平成25年度予算の補正

- 小千谷市一般会計補正予算(第2号) (全会一致)

その他

- 契約の締結(市庁舎耐震化(建築主体)(工事) (全会一致)
- 契約の締結(消防救急デジタル無線施設整備工事) (全会一致)
- 財産の取得(中学校教育用コンピュータ) (全会一致)
- 財産の取得(ロータリ除雪車) (全会一致)
- 財産の無償貸付(旧岩沢小学校建物) (全会一致)

- 人権擁護委員候補者の推薦 (全員賛成)

- 年金2・5%の削減中止を求める請願 (採択)

- 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の提出を求める請願 (採択)

発議

- 年金2・5%削減の見送りを求める意見書 (全会一致)
- 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書 (全会一致)

常任委員会報告

総務文教委員会

本委員会に付託されました議案3件のうち2件は総務文教委員単独で、1件は民生産業委員会との連合審査会で慎重に審査した結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。また請願1件についても原案のとおり採択すべきものと決しました。

- 議案第63号 財産の無償貸付について

本案は、旧岩沢小学校の校舎及び屋内運動場を、中越住電送株式会社は無償貸付をしたいとするものであります。

- 請願第2号 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の提出を求める請願

本請願は豊かな教育環境を整備するため、30人以下学級の実現と、全国どこに住んでいても教育の機会均等が担保され、教育水準の維持・向上を図ることを求める意見書を提出していただいたものです。

民生産業委員会

本委員会に付託されました議案1件について、慎重に審査した結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。

また、請願1件についても慎重に審査した結果、採択すべきものと決しました。

議員永年表彰者

- 全国市議会議長会
北信越市議会議長会
- 30年表彰 横田 卯一
30年表彰 柳田 宏光
本田 剛
久保田久栄



○議案第60号 平成25年度小千谷市一般会計補正予算(第2号)について
今回の補正は、歳入歳出それぞれ2億2898万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ185億4076万9千円としたいとするものであります。

議会中継

市議会本会議は市ホームページからインターネットライブ中継でご覧いただけます。

本会議当日のライブ中継のほか、録画映像もご覧いただけます。(録画映像は本会議終了後、通常、休日(土日・祝祭日等)を除く5日後から、この本会議の会議録が市議会ホームページに掲載されるまでの間ご覧いただけます。)

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp>



○議案第59号 小千谷市子ども
の医療費助成に関する条例の一
部を改正する条例の制定につい
て

本案は、県の助成の拡充に伴
い、9月1日から中学校卒業ま
でのすべての子どもに対し、助
成するために改正するものであ
ります。

○請願第1号 年金2・5%の
削減中止を求める請願

本請願は、不況をより深刻に
する年金2・5%削減の実施を
中止することを求める意見書を
国に提出していただきたいとす
るものであります。

市政の内容を聞く

一般質問

導の手引きを参考としている。

質問 災害発生時の避難方法や
誘導についての考え方、地元の方
々の協力について

教育長答弁 避難誘導関係の施
設整備については改修工事の中
で進めている。現在、県が策定
中の新潟県防災教育プログラム
を基に、今後、学校運営の中で
計画を作成することになるので、
現在は作成されていない。

また、地元への協力要請も必
要と考えており、計画作成段階
において地元との連携を含め、
教育委員会に助言していきたい。

質問 市内業者への就労支援と
アプローチについての考えは

答弁 障がい者雇用に期待する
ものの把握材料については、各
事業所のニーズは、事業所個々
により変化するものであること
から、市ではデータ化はしてい
ない。

障がい者の方も生活や、一般
社会で仕事をする上で基本的に
こういったことが必要だとい
うのは、特に当市が方向づけをす
る事ではなく、一般的にそうい
う教育の中でなされている事と
理解している。

障がい者の方々がかうあるべ
きだということについては現在

は把握していない。

企業と施設との結びつきを今
後も行政として行いながら、そ
の中で要望を調整し応えていき
たい。



介護保険改悪、小 千谷市原子力災害 対策編について

風間 健一 議員

質問 安倍自公政権は、国民に
は「財政危機」と言いながら、
「国土強靱化」の名で「公共事
業に10年間で200兆円」を注
ぎ込むと公言し、大都市環状道
路などの不要不急な大型開発を
進め、その一方で消費税値上げ
と年金、医療、介護などの社会
保障の改悪を進めようとしてい
ます。▽要介護認定で「軽度」
(要支援1、2)と認定された

人の利用料を2割以上に引き上
げる▽「軽度」を対象としたサー
ビスの内「予防効果のないもの」
を保険外負担化することなどが
来年度法改正に向け検討されて
います。これが法制化されれば
消費税の8%、10%の増税と併
せて、市民にとって耐えがたい
負担増です。こんな介護制度の
改悪が市民の安心安全を図る立
場から許されるのか市長の見解
を伺いたい。

答弁 国の結論ならば、当市と
してはやむをえないと考える。

質問 小千谷地域防災計画原
子力災害対策編は住民を一人と
して被ばくの危機にさらさず避
難させる実効性のある避難計画
には程遠いといわなければなり
ません。柏崎刈羽原発30^キ圏内
の人口は43万人。避難手段、降
雪期の道路確保や雪崩の危険性
への対応、避難施設の確保など、
どれをとつても不十分です。県
知事は、住民一人残らず安全に
避難できる計画がなければ原発
再稼働議論はあり得ないと答
えています。柏崎刈羽原発が苛酷
事故を起こした場合、一人とし
て被ばくせずに避難することは、
私は物理的に不可能と考えるが
果たして可能か。

特別支援教育につ いて

田中 淳 議員

質問 支援学級と支援学校とで
知的能力に関し、大まかな定義
があると思うが、当市としての
知的能力の区分についての定義
はどうかっているのか

教育長答弁 学校教育法施行令
第22条の3に定められた就学基
準と文部科学省の就学指導資料
及び新潟県教育委員会の就学指

答弁 指示に従っていただければ可能と考えます。



県立自然公園山本山高原の活用について

阿部 正行 議員

質問 産業廃棄物中間処理施設建設についての経過と内容について

答弁 事業者において平成22年に両新田で、その後旧山本山スキー場で、それぞれに話があったが、農振区域 また、自然公園であり現在の所となった。

質問 水や粉塵、自然公園内という難しい事の解決をどうするのか。

答弁 事業者は地元で説明し理解を得た上で、市としては環境対策で公害防止協定を結ぶ。

質問 他に適地がないのか。

答弁 リサイクルの観点から必要だが事業者の問題であり検討するつもりはない。

質問 市のスタンスは。

答弁 この件は民間事業者の問題でありそれぞれの事項に適切な指導、審査を行っていききたい。

質問 山本山の現状について

答弁 昭和36年に国の認定を受け草地は47haで平成9年に放牧を休止。草地を縮小し民間に貸付、他は自然景観維持に努めた。山頂については自然を生かしたものにしたい。

質問 遊歩道の整備について

答弁 中部山岳自然歩道であり今後については検討したい。

質問 クラインガルデンと市民の家の連携について

答弁 それぞれの役割があり具体的な提案があれば検討する。

質問 山本山を中心として活動している諸団体について

答弁 それぞれの団体の活動を尊重しおぢや復興ネットワークを含め支援したい。

質問 旧山本山スキー場の斜面の活用について

答弁 地元の理解が必要であり経費等の問題があり検討はしていない。

質問 山本山の観光資源の活用

について

答弁 第四次総合計画をふまえて観光拠点整備をさらに進めたい。



山本山

職員再任用・採用、牛の角突き、活性化について

山本 道男 議員

質問 定数条例と再任用についての第1点目、再任用職員を定数枠外にすべきでないか。

答弁 派遣職員を枠外にするには、再任用以外の派遣職員も枠外となることから、条例改正について今後検討したい。

質問 第2点目、再任用希望者は全員採用すべきと考えるが。

答弁 世代間バランスや財政事

情を考慮し、他自治体の取り組みを確認する中で、総合的に検討を進める。

質問 職員採用についての第1点目、ここ数年は退職者に見合った採用をすべきでないか。

答弁 退職者の活用も含め適切に対応する。

質問 第2点目、保育士の採用は、何名程度を想定しているのか。

答弁 1名ないし2名の採用を考えている。

質問 (動物愛護の面で) 牛の角突きが廃止とならないよう努力すべき。

答弁 闘牛振興協議会と連携し、国指定の重要無形文化財として、牛の角突きのPRに努めたい。



質問 ふるさとかるたの活用と、新大生の4提案を市の活性化に役立てたらどうか。

答弁 現行のままで活用したい。現存する数が定かでないので大会等の開催は難しいと思うが、

新大生の4提案については、市の事業計画の中で参考にしたい。

新病院建設に伴う道路網の整備について

横田 卯一 議員

質問 県道長岡片貝小千谷線の改良事業計画の見通しについて

答弁 新病院の開院後は必然的に交通量の増大が予想されるため、新潟県とはこれまで数回にわたり改良に関し協議を行ってきた。交通量調査の結果などを踏まえ、今後も県に対し早期実施をさらに働きかけていく。

質問 市道西小千谷1号線の北部方面への延長計画の有無について

答弁 現状では西小千谷1号線の北部方面への延長は考えていない。ただし新病院開院後の道路整備の必要性が生じた場合には、関係機関を交え検討したい。

質問 現在市道と言うものの農道的となつている桜町千谷線、荒田1号線、2号線は幅員も狭く安全性が危惧されるがその対応策について



市道西小千谷1号線

答弁 市道桜町千谷線については、新病院開院に伴い交通量の増加が予想されるため、現在具体的な改良計画を検討している。市道荒田1号線、2号線については現状では道路改良は考えていない。なお新病院開院後の交通状況を見る中で、必要に応じて新たな道路施策を講じたい。

子ども・子育て支援について

長谷川有理 議員

質問 子育て世代から要望が多い耳鼻科・皮膚科等の体制充実や働く職員のための院内保育園設置等、市民の新病院への要望

を厚生連に届けているのか。

答弁 精神科の設置要望以外、要望は市民からない。厚生連に本年3月に市の要望を提出した。

質問 三条市サンキッズカード・

十日町市地域子育て応援カード等、行政と民間事業所が協働した子育て支援の取り組みを。

答弁 新たに策定する子ども・子育て支援計画で検討する。

質問 複数課にまたがる弊害を排し子育てと教育に係る庁内組織を再編し、子育て支援業務に関する体制の一元化を図るべき。

答弁 行政システムの再構築は行政改革の重点事項の1つ。効率的な行政組織を目指し検討していきたい。

質問 今後設置される防災公園に子育て世代の意見を反映させる等の取り組みを図るべき。

答弁 具体的にデザイン・設計等検討する上で可能な限り子育て世代の意見を反映させたい。

質問 審議会等での議事録の公開を図り、市民参画・市民協働のまちづくり推進を図るべき。

答弁 教育委員会会議録はホームページで公開を始めた。各審議会ごとに検討していきたい。

質問 子ども・子育て支援会議の設置時には次世代育成支援推進懇談会の看板を変えるだけでは意味がない。教育、保育、子育て支援を3本柱に、子育て当事者の参画に配慮したメンバーに拡充すべきではないか。

答弁 メンバーについては幅広い意見を採用できるように再検討したい。



多世代の交流（大崩運動会）

日中一時支援事業について

吉崎 進 議員

質問 総合支援学校の用具室、畳約11畳程度のスペースを日中一時支援の実施スペースとした場合、何人まで支援できると考えているか。

答弁 日中一時支援の利用希望者の総人数や個々の障がいの程度にもよるので、今の時点では何人とは言えない。なお、実施スペースの改修とサービスマン実施事業者の公募は市が行う。



旧塩殿小学校体育館用具室

質問 支援員は特別な資格を必要としないが、支援員についてどのように考えているか。

答弁 日中一時支援事業は事業者の実施責任で行うことで、ボランティアのみでの当該事業の実施は考えていない。

質問 日中一時支援の受け入れ先としてサンラックおぢやを使用してはどうか。また、日中一時支援の実施時間をどのように考えているか。

答弁 5月上旬から小出特別支援学校に通う児童・生徒の保護

小千谷市の防犯体制について

久保田陽一 議員

質問 小千谷市の近年の犯罪発生件数の推移と内容は。

答弁 当市の犯罪発生件数は平成22年が210件、23年が243件、24年が165件。いずれの年も窃盗犯が最も多く、平成

者と学校教育課指導主事との面談時に、社会福祉課職員も同席し、日中一時支援事業のニーズ調査を実施している最中で、利用希望者の人数、利用希望時間、施設等がある程度判明した段階で、各事業所に情報提供し、受け入れ人数、受け入れ時間等の調整を行うとともに、サンラックおぢやの使用についても小千谷市社会福祉協議会の意向を確認する。

質問 市として上乗せ支給についてどのように考えているか。

答弁 日中一時支援は事業者から採算がとれる体制を整えてもらう中で実施されるべきであり、市が上乗せすることは、現時点では考えていない。

22年は152件、23年は157件、24年は113件。振り込め詐欺の被害は平成23年は1件、24年は2件。重大な犯罪の発生は無し。

質問 小千谷市の防犯対策・防犯体制は。

回答 平成24年4月に施行した「小千谷市防犯まちづくり条例」に基づき、市と警察、防犯協会等の団体が相互支援・協力・連携する体制で、振り込め詐欺防止や盗難防止活動、高齢者や女性・子ども等の弱者保護対策等についてチラシによる広報・啓発活動や研修会、講演会、一般住宅の防犯指導等を行ってきた。今後も関係機関と連携を図り防犯の取り組みを進めていく。

質問 防犯灯のLED灯への切り替えの計画はあるのか。防犯灯設置取り替えに対する補助率・補助金の拡充の考えは。

回答 市内の防犯灯設置総数は約4000灯でその内LED灯は68灯。LED灯への切り替えには多額の費用がかかるので市として取り替えの計画は考えていない。補助率・補助金の拡充については、町内会の負担状況や要望状況を見ながら防犯協会と協議していく。

質問 防犯カメラの設置の考えは。今まで設置されなかった理由は。

回答 当市の人口規模や犯罪発生件数及び犯罪の態様から設置の必要性は無かったと考える。また、設置費用が高額で保守管理が必要なので設置の考えは無い。今後は犯罪件数の動向・態様等により設置を検討していく。



福祉タクシーの利便性向上について

川上 直栄 議員

「小千谷市福祉タクシー利用料金助成事業」は心身障がい者に対しタクシー利用料金の一部

を助成し、もって心身障がい者の社会参加の促進及び福祉の増進を図ることを目的として実施されております。しかし、市外のタクシー事業者を利用することができないため不便を感じている方もおられます。現状の利用状況を確認すると同時に利用者にとって更に便利な事業となるよう検討する必要があるものと考え次の5点について質問します。

質問 利用できる該当者数と実際の利用券の交付状況は。

回答 24年度実績で該当者数は1012人であり交付数は492人で交付率は50%を下まわっている。

質問 交付された利用券の利用状況はどのくらいか。

回答 424人が利用されており、交付した利用券1万1808枚のうち利用されたのは7593枚で64・3%。

質問 希望者に対して交付枚数を増やす考えはないか。

回答 他市と比べても大差がないので直ちに増やすことは考えていない。

質問 利用者の希望や意見を聞く機会はあるのか。

回答 交付時の聴き取り調査の

他、窓口や電話でも受け付けている。

質問 市外事業者の受け入れについて検討できるか。

回答 利用者からの申し出を受け利用状況を分析したところ、とりわけ長岡市の旧市内への利用が多いことから、今年10月から試験的に旧長岡市内に所在するタクシー事業者と委託契約を行い利用者の利便性を改善するための手続きを進めている。



市議会を傍聴してみませんか

第3回定例会開催予定

- 9月2日(月) 第1日 議案上程説明
- 9月3日(火)～9月6日(金) 各常任委員会で審査
- 9月18日(水) 第2日 一般質問
- 9月19日(木) 第3日 一般質問(質問者が多い場合に開催)
- 9月24日(火) 最終日 委員長報告、採決

※日程は変更される場合があります。各委員会の日程、団体での議会傍聴については議会事務局(☎83-3505)へお問い合わせください。また、議会の日程は、市ホームページからご覧いただけます。

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp>

〈4月〉

- 4日 北信越市議会議長会定期総会（富山市）
- 8日 南小学校開校式
- 9日 議会報編集委員会
- 11日 議会運営委員会
- 15日 議会報編集委員会
- 18日 南魚沼市立総合支援学校視察（南魚沼市）
- 23日 神奈川県愛甲郡愛川町議会行政視察に来市
- 30日 会派代表者会議

〈5月〉

- 2日 議会運営委員会
- 7日 会派代表者会議
- 9日 会派代表者会議
- 10日 第1回臨時市議会
- 27日 議員協議会
- 30日 議会運営委員会

〈6月〉

- 3日 上越新幹線活性化同盟会総会（新潟市）
- 6日 第2回定例会（本会議）
- 7日 議会報編集委員会
- 7日 常任委員会連合審査会
- 10日 総務文教委員会
- 11日 民生産業委員会
- 20日 議会運営委員会
- 21日 本会議（第3日）
- 25日 議会報編集委員会
- 28日 柏崎港整備利用促進協議会通常総会（柏崎市）



51



大橋 立美（本町2）

あちこちで高校野球の地区予選が始まった。もうじき夏の甲子園が開幕する。

ところで、あの開会式の選手宣誓が最近では凝ったものが多い。顧問の先生が考えるのか、色々な話題や思いをその中に盛り込み、ずいぶんと長文になっている。暗記する選手は大変だなあ

などつぶやいたりする。思うに、殊勲力士のインタビューと高校野球の宣誓は短くて良い。それはさておき、小千谷高校が甲子園に出場してから何年が経つただろうか。テレビの前で心躍らせた頃を懐かしく思い出す。あの時、家の外は静かだった。

現在小千谷には二つの高校があり、小千谷高校は昨年創立1

10周年を迎え、小千谷西高は今年創立50周年を迎える。どちらも伝統校であり、当然野球部も活動している。一市民として

はどっちでも良いから甲子園に行ってくれないかなあと夢を見る。もちろん現状ではそれがかなり難しいことは百も承知している。優れた指導者、充実した環境、実力ある選手、そして地元

元の応援。これらが揃って始めて強豪校と渡り合えるのだ。残念ながら今、有望な中学生は才能をより生かせる県内外の高校へ進学し、また高校側も野球部

だけに肩入れできないのは県立校としては当然のこと。しかしそれでも私は夢を見る。ある年、突然江川卓のような怪物が現れ、「誰が反対しても俺は地元の高校へ行く！」そう

言って彼は野球部に入部し、県大会は連戦連勝。ついには甲子園のマウンドに立つというストーリーだ。楽しいだろうなあ。甲子園出場が小千谷にもたらす効果はアベノミクスより大きい。夢だが可能性はゼロではない。

編集後記

議会人事が第1回臨時市議会が変わりました。それに伴い議会だよりの編集委員も変わりました。新しい編集委員は次のとおりです。

- 編集委員長 吉崎 進
- 編集副委員長 川上 直栄
- 編集委員 久保田陽一
- 阿部 正行
- 長谷川有理
- 横田 外一

この6名で、今後2年間、市民の皆様を読みやすい議会だよりを編集するよう、精一杯努力してまいります。どうぞよろしく願います。

さて、今年の春はあまり実感できないうちに終わった気がします。そして、今は、蒸し暑い梅雨の真最中です。熱中症に注意と、毎日のようにテレビ報道されています。しかし、これからは、夏本番です。楽しい夏祭りが各地域で行われますが、熱中症にはくれぐれもご注意ください。暑さに負けず、夏を大いに

楽しみましょう。

